



本レポートは、OECD 東京センターの Facebook Page における全 10 回の投稿、【インターンの日々@OECD】を基にしています。【インターンの日々@OECD】は、2017年インターンの小野克幸が、インターンの業務についてより広く知ってもらうために企画し、行ったものです。

## OECD 東京センター

OECD 東京センターは、日本及びアジア地域における広報活動のコンタクト先として、OECD の取り組みや出版物、統計情報などのお問合せにお答えする他、メディア関係者には定期的に記者会見などを開催しています。大学などへの出前講座や OECD iLibrary の使い方講習会も行っています。また、OECD の報告書などの日本語版出版のためのアシスト業務も行っています。



写真: OECD 東京センター 撮影: OECD 東京センター

## インターンの業務

### 1. メディアレビュー

新聞、雑誌やテレビ、オンラインの記事も含め、各メディアで OECD のデータ、イベント、報告書発表がどのように、そして、どれだけ報道されているかを調べる作業です。メディアレビューは、各センターが代表する地域-東京の場合は日本及びアジア全域-における優先伝達事項を OECD パリ本部に連絡し、職員の間で情報を共有するのに役立っています。そのため、インターンは、経済などについての話題のニュースを収集し、報告しています。メディアレビューは、時差の関係で、パリ本部が始業するまでにこれらの作業を終えなければならないので、インターンは出勤すると一番に行っています。連休明けなどで確認するメディアが多いときは、取り上げるニュースも多くなるので大変です。

### 2. データベースのアップデート

東京センターでは引用された報告書や記事となったニュースなど OECD に関する情報をデータベースで管理しています。これは定期的（半期・年間）にどれだけ情報が記事となったかパリへ報告すること、データベースで管理することにより将来的に必要な際にすぐに取り出せるようにするためです。全体の数字を報告する際の利便性からデータ、そして実際に内容を確認するためのハードコピーの両方で管理しています。データベースに入力する記事は基本的に二次利用されている記事・ニュースについては除外し、プライマリーソースのみをデータベースで記録します。入力する項目は記事タイトル、報道機関名、掲載日、報道形式など基本的な項目から、関連の OECD 部署、引用されている報告書名、掲載されている職員名とその職位など多岐に渡ります。

### 3. メディアカバレッジレポート

メディアカバレッジレポートとは、特定の報告書やイベントがどの程度メディアに取り上げられたかを確認し、パリ本部の関係部署と情報を共有するために作成します。東京センターでは事務総長訪日や注目の報告書の発表、東京センターが携わったイベントなどに関するメディアカバレッジレポートを作成します。例えば、2017年発表の『OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA2015) 生徒の幸

『OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA2015)』のメディアカバレッジレポートを作成した際は、50 件以上の記事をまとめて提出しました。



写真:『OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA2015)』を持つインターン小野 撮影: OECD 東京センター

#### 4. SNS

インターンは、Twitter と Facebook を通じて OECD のデータ、イベントや新報告書情報の発信のために、SNS の運用も行なっています。投稿のための原稿作成や企画立案や、駐日大使館と連携して、各国の OECD データを日本語で発信することもあります。

#### 5. その他の業務

東京センターでは OECD iLibrary の利用促進のため動画を作成しています。「OECD iLibrary の紹介」と「OECD iLibrary 統計データの見つけ方」という YouTube 動画は、インターンが音声を担当しました。

また、OECD のトップ、グリア事務総長訪日の際は、平常とは異なる業務があります。事務総長訪日準備は 1 ヶ月以上前から行われます。まず、メディアチームとしてはグリア事務総長と OECD 幹部の訪日にあたり、メディアレビューの作成を行います。これは日本国内の最新の情勢を事前に伝えることを目的としており、幹部らの関心事を考えながら、経済・政治・社会など様々な分野での重要なニュースをまとめます。

2017 年の場合は、日本記者クラブでの『OECD 対日経済審査報告書』発表に備えて、ホームページ・SNS で事前告知、記者用の資料準備もインターンの仕事です。この作業は、記者向けのブリーフィング、イベントなどでの公式発表、プレスリリースと続く発表の流れの一部であり、重要任務です。その他にも各種イベントでの会場設営、参加者名簿の作成、受付など事務総長訪日中の業務は多岐に渡りました。

『OECD 対日経済審査報告書』発表翌日には、メディアカバレッジをまとめる作業を行います。これは、事務総長への取材や OECD 関連イベントについての記事を調べて、報告書やフォーラムがどれだけニュースに取り上げられたかを確認し、事務総長をはじめパリ本部と共有することを目的としています。



写真: グリア事務総長 (右)、ジョーンズ OECD 経済局日本・韓国課長 (左)  
(日本記者クラブでの『OECD 対日経済審査報告書』発表の様子) 撮影: OECD 東京センター